

SDGs・脱炭素セミナー

〔3月24日〕

日本では、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」を重要政策として掲げ、脱炭素社会に向けた取り組みが国内でも急激に進んでいる状況です。

これから脱炭素への取り組みを考えたい企業向けの入門講座として詳しく説明を頂きました。



【講師】(株)グリーンゼ代表取締役社長

「SDGs de 地方創生」公認ファシリテーター

福田 多美子氏

第1回
敦賀市事業承継支援機関
連絡会議

〔3月30日〕

市内企業の円滑な事業承継や、地域経済の担い手となる将来の経営者の育成・創出に向けて、市内支援機関が集まり、課題の共有と、今後の企業への更なる効率的支援に繋げていくための連携について協議を行いました。

若狭湾サイクリングルート
推進協議会

〔3月28日〕

敦賀市内に、サイクルステーション（自転車用の駅）整備支援として、「西福寺」「カグール」「赤レンガ倉庫」に、サイクルラック、空気入れ等自転車専用工具が設置されました。

嶺南誘客キャンペーン企画
推進委員会

〔3月28日〕

キャンペーン基本計画として、嶺南6市町、観光事業者、若者実業家など嶺南エリアで活動する方と連携しながら地域の盛り上がりと持続的に稼げる仕組みを構築する事で進めていく事としました。

衆議院議員（国会対策委員長）高木毅氏に、
奥井会頭が要望しました

3月16日

北陸新幹線に関連した整備促進について

○敦賀以西の着実な整備促進 及び 在来線の利便性確保について

新幹線開業効果を将来の世代に発展性のある地域としてつなげるために、小浜・京都ルートによる新大阪までの全線開通が必要である。

○敦賀第2環状道路の整備促進について

敦賀市内における経済効果を十分に発揮させるために、県連敦賀美浜線・合同庁舎前交差点から市道171号線・中村橋付近までの区間（第2環状道路）について整備促進を求めた。

北陸新幹線開業を契機として高まる

交通の要衝としての強みを発揮するための整備促進

○敦賀港の機能向上について

敦賀港鞠山南地区岸壁の拡張整備について引き続き推進を求めた。

○敦賀―高島間の連絡道路整備について

北陸新幹線開業を契機とした広域観光による誘客促進や、港の活用拡大、交流人口増加など経済効果が見込まれるため連絡道路の整備実現を求めた。



Bay Cruise

株式会社 バイ・クルーズ

〒914-0121 福井県敦賀市野神15-5-13

TEL(0770)25-0555 FAX(0770)25-0580

業務内容

- 貸切バス事業
- レンタカー＆カーリース（乗用車・ワゴン・マイクロバス・トラック各種）
- デジタルタコグラフ販売・取付
（株式会社スステック製・国土交通省 装置型式指定 認可 EarthDrive DTU-1）
（株式会社スステック製・EarthDrive EDUT-1000 EMS車載器）
- 損害保険代理店

RCN 戸建限定！
光サービス受付中
月額5,500円～税込
みねっくん
テレビ + インターネット
※申込みプラン 1,650円（税込）
※みねっくん200Mプラン 1,850円（税込）
※申込状況により、工事までお時間をいただく場合があります。
※テレビ光ライトプラン以上とインターネットご契約の場合は、セット割引をご利用いただけます。
問合せ：Tel.0120-042-212（携帯から0770-24-2211）